

命を守るために

～避難訓練を通じて伝えていきたいこと～

芦屋市立緑保育所

阪神淡路大震災では
高速道路も倒れました



保育所では、火災・防犯・地震・避難などを想定して毎月子どもたちと一緒に避難訓練を実施しています。

特に、阪神淡路大震災・東日本大震災経験後は、「どうすれば、一人一人の命を守るか」「安全に避難するためにはどうしたらいいか」等、職員の意識向上にも努めてきました。毎年1月17日を子どもたちにも、震災後に生まれた職員にも、命を守るためにできることを考える日として取り組んでいます。

シェイクアウト訓練の様子



秋の地震訓練では、市の防災スピーカーを聞いて担任の傍で「まず低く、頭を守り、動かない」を実践しました



小さいクラスも防災頭巾をかぶり、避難の準備をしました

『1・17 震災の集い』

震災の写真を見て保育士の話を聞き、命の大切さを知らせています



子どもたちに伝えていくために、歌「えがおをいつまでも」と紙芝居を作りました。これからも語り継いでいきます

手作りの紙芝居

『あなたたちのえがお いつまでも』

